

6.2 管理資料情報取出手順(自社システムを用いた場合)

6.2.1 通信仕様

NACCS における管理資料情報取出の通信プロトコルとして、ネットワーク・トランスポート層に TCP/IP、その上位層には HTTP を採用する。なお、インタラクティブ処理方式 (netAPI) により NACCS と接続する自社システムから管理資料情報取出を行う場合は「4.5 インタラクティブ処理方式 (netAPI)」を参照すること。

(1) HTTP送受信仕様

(A) HTTPのリクエスト・レスポンス

管理資料情報取出において、NACCS センターサーバ側への送信時に使用できる HTTP リクエストのメソッドを、表 6-2-1 に示す。

表 6-2-1 管理資料情報取出の際に使用するメソッド

項番	メソッド	概要	センター側 管理資料情報 取出サーバの応答 (正常レスポンス)
1	POST	センター側管理資料情報取出サーバに処理要求を行い、結果を取得する。 本仕様において、6.2.1(1)(B)の処理要求電文が存在するが、いずれも POST メソッドにて処理要求を行う。	正常レスポンスとして 200 及び処理結果を返す。

(注) 本仕様において使用する HTTP リクエストのメソッドは POST のみである。

(B) 処理要求電文の種類

管理資料情報取出では、利用者システムと、センター側管理資料情報取出サーバにおいて、表 6-2-2 に示す処理要求電文が存在する。各処理要求電文にはその処理結果電文があり HTTP リクエストのレスポンスとして利用者システムに送信される。

表 6-2-2 処理要求電文の種類

項番	電文の種類	説明
1	管理資料情報一覧要求	センター側管理資料情報取出サーバに蓄積されている管理資料情報の一覧を取得する。
2	管理資料情報取出要求	センター側管理資料情報取出サーバに蓄積されている管理資料情報の取り出しを行う。
3	管理資料情報再取出要求	センター側管理資料情報取出サーバに蓄積されている管理資料情報の再取り出しを行う。

(2) 管理資料情報取出のシーケンス

(A) 業務シーケンス

利用者システムからの管理資料情報取出の際のシーケンスを、図 6-2-1 に、管理資料情報再取出の際のシーケンスを、図 6-2-2 に示す。

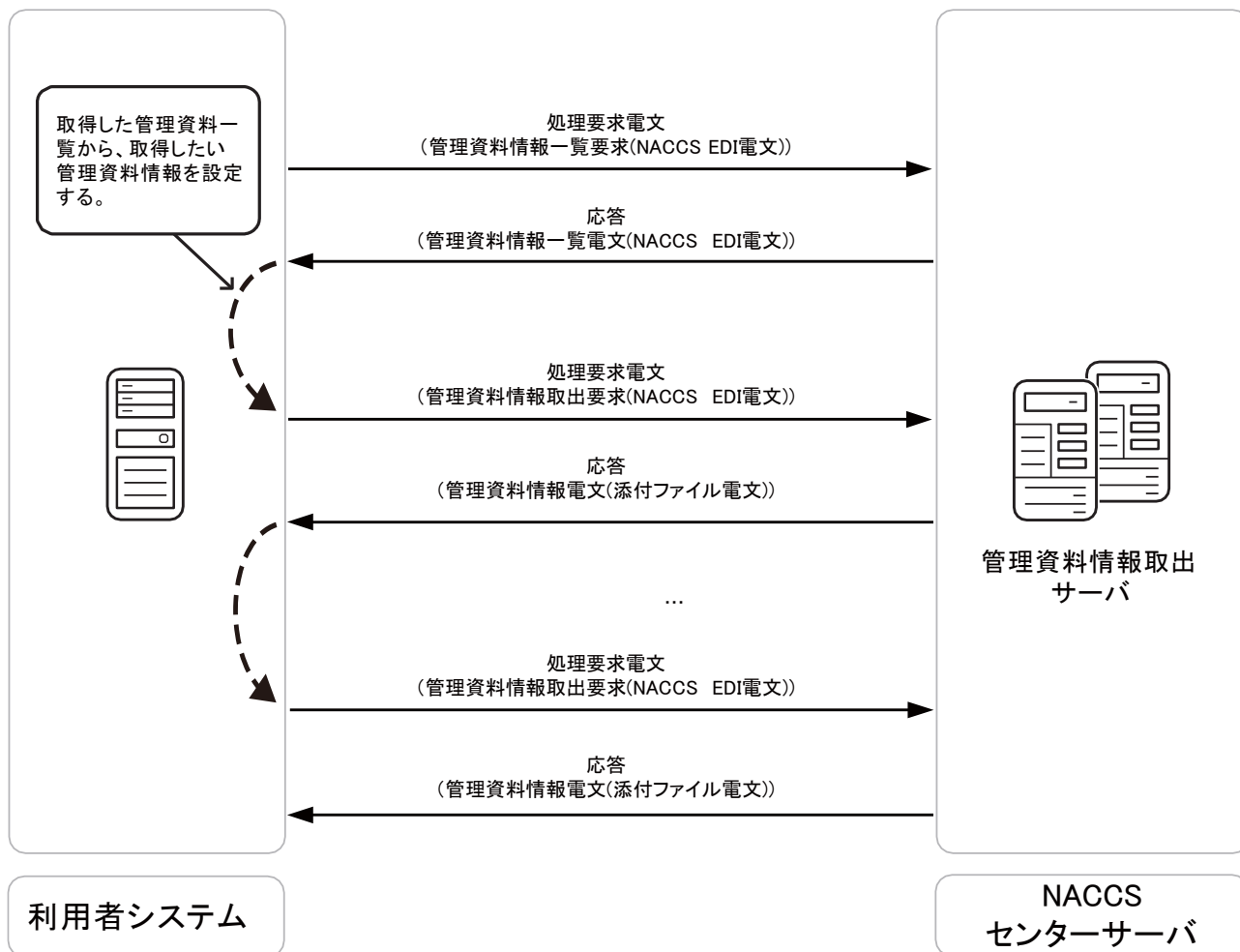


図 6-2-1 管理資料情報取出のシーケンス

- ①利用者システムは管理資料情報取出サーバに向けて、管理資料情報の一覧を取得するための要求電文を送信する。
- ②管理資料情報取出サーバは、利用者システムからの要求を受け、格納されている管理資料情報ファイル名とファイルサイズを取得する。
- ③管理資料情報取出サーバは、検索結果を利用者システムに返却する。
- ④利用者システムは、管理資料情報一覧の中から取得したい管理資料情報を設定する。
- ⑤④の利用者システムからの要求に基づき、管理資料情報取出サーバに管理資料情報取出要求電文を送信する。
- ⑥管理資料情報取出サーバは、要求電文に基づき管理資料情報を取得する。
- ⑦管理資料情報取出サーバは、取得した管理資料情報を利用者システムに向けて送信する。

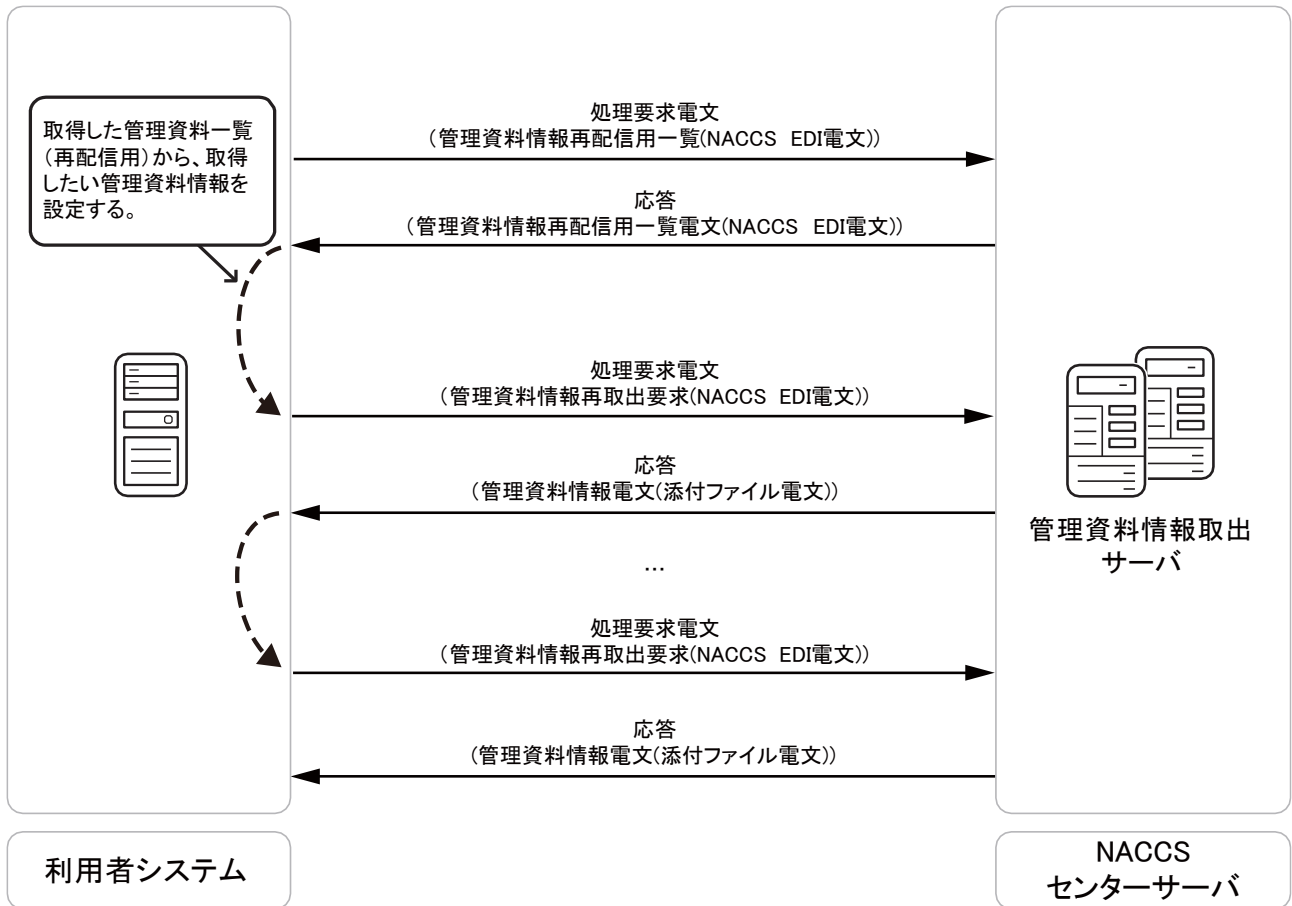


図 6-2-2 管理資料情報再取出のシーケンス

- ①利用者システムは管理資料情報取出サーバに、管理資料情報の再取り出しを行うために、管理資料情報再配信用一覧を取得するための要求電文を送信する。
- ②管理資料情報取出サーバは、利用者システムからの一覧要求を受け、ファイルを検索する。
- ③管理資料情報取出サーバは、検索結果を利用者システムに返却する。
- ④利用者システムは、管理資料情報一覧の中から再取り出しをする管理資料情報を設定する。
- ⑤利用者システムからの要求に基づき、管理資料情報取出サーバに管理資料情報再取出要求電文を送信する。
- ⑥管理資料情報取出サーバは、要求電文に基づき取り出し済みの管理資料情報を取得する。
- ⑦管理資料情報取出サーバは、取得した管理資料情報を利用者システムに向け送信する。

(B) 留意事項

① 管理資料情報取出業務における電文構造

- ・管理資料情報取出業務で使用する電文フォーマットは、添付ファイル電文とする。
添付ファイル電文の詳細については、「6.2.2(1)電文構造 (B) 添付ファイル電文の場合」を参照すること。
- ・管理資料情報取出業務と、管理資料情報再取出業務は、異なる業務コードとする。

② ファイル圧縮形式について

管理資料情報は、NACCS センターサーバ側には GZIP 圧縮状態で保存されており、その状態で転送される。そのため、利用者システム側で GZIP 圧縮ファイルを解凍する必要がある。

③ 管理資料情報取出時の認証について

管理資料情報取出サーバは、利用者システムからの受信電文(NACCS EDI 電文)に設定されている利用者コード(5桁)+識別番号(3桁)とパスワードを用いて、利用者認証を実施する。管理資料情報取出は、当該利用者コードでのみ行うことができる。

認証エラーの場合は、利用者システムに向けて認証エラーの旨のメッセージを返却する。

④ 管理資料情報取出機能について

NACCS センターが示す、管理資料情報取出のインターフェースを自社システムで実装し、HTTP で接続することにより、取り出しを実施することが可能となる。

6.2.2 電文仕様

管理資料情報取出では、NACCS EDI 電文、添付ファイル電文の電文形式を利用する。

(1) 電文構造

以降に各形式の電文構造の概要を示す。

(A) NACCS EDI電文の場合

管理資料情報取出では、処理要求電文ならびに処理結果電文に、NACCS EDI 電文を使用する。NACCS EDI 電文の概要を、図 6-2-3 に示す。

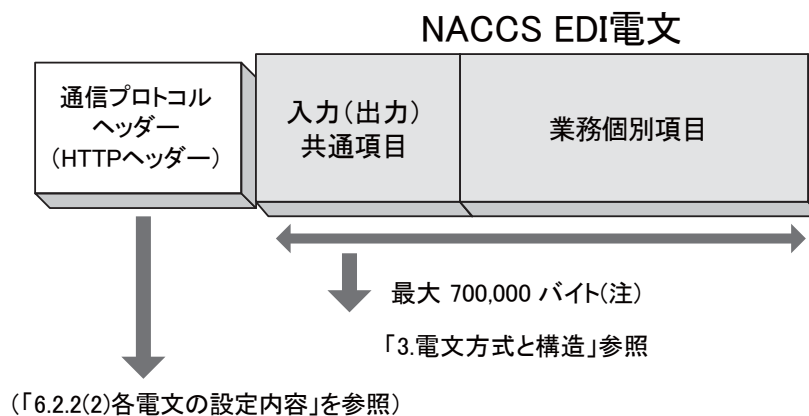


図 6-2-3 NACCS EDI 電文の概要

① 処理要求電文

利用者システムが、処理要求電文（管理資料情報一覧要求、管理資料情報取出要求、管理資料情報再取出要求）をセンター側管理資料情報取出サーバへ送信する電文の形態を、図 6-2-4 に示す。

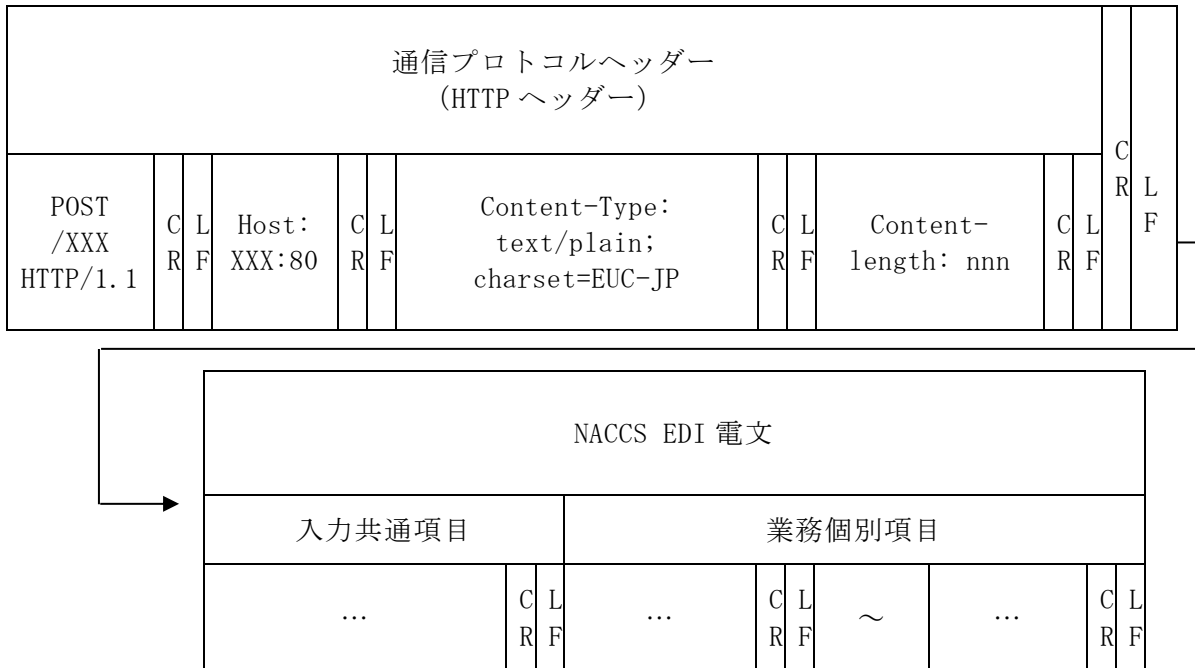


図 6-2-4 電文の内容

② 処理結果電文

利用者システムの処理要求電文に対して、センター側管理資料情報取出サーバが処理結果電文（管理資料情報一覧電文・管理資料情報電文（エラー））を返す際の電文の形態を、図 6-2-5 に示す。

なお、管理資料情報は GZIP 形式で圧縮された添付ファイルとして利用者システムに返されるため、管理資料情報を含む処理結果電文については、後述の、図 6-2-6 を参照すること。

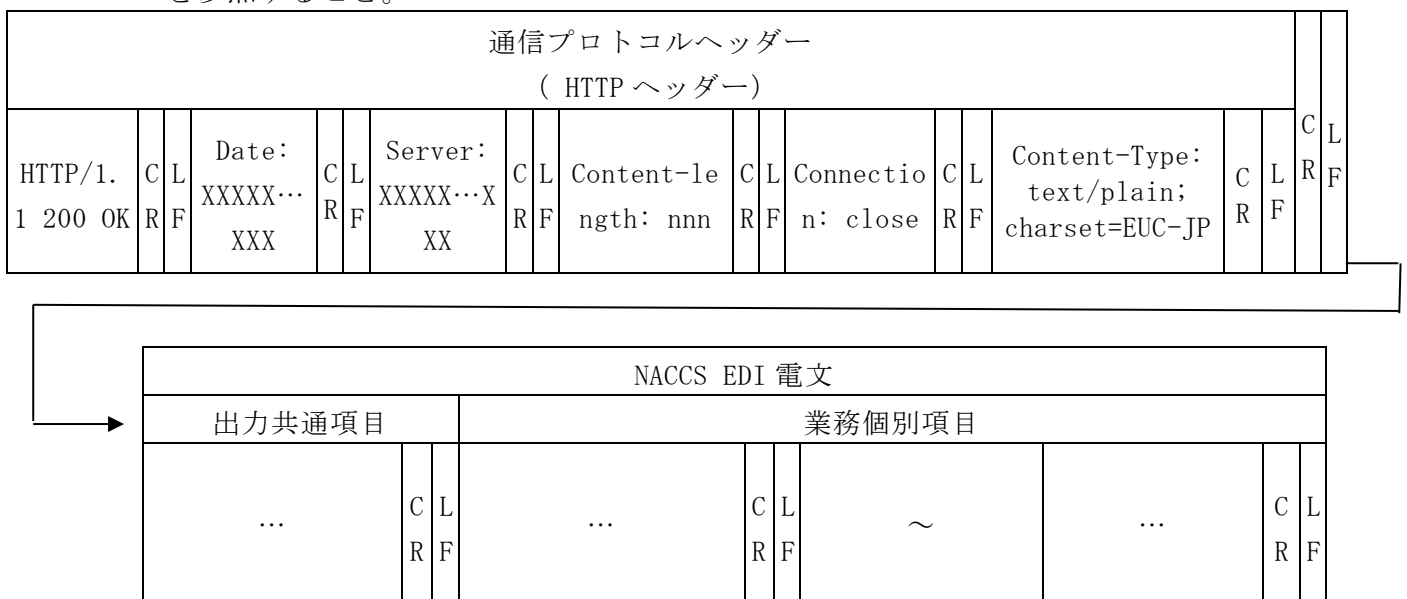
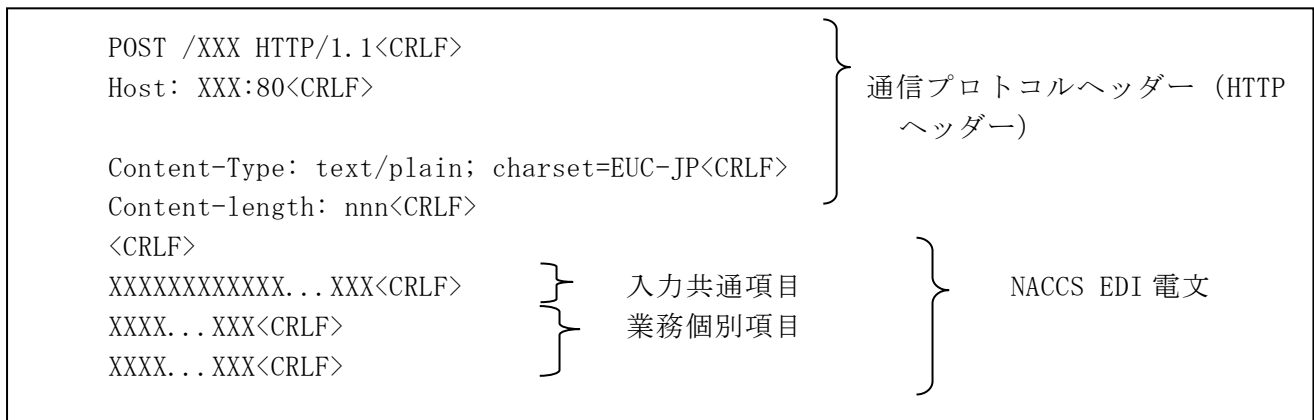


図 6-2-5 電文の内容

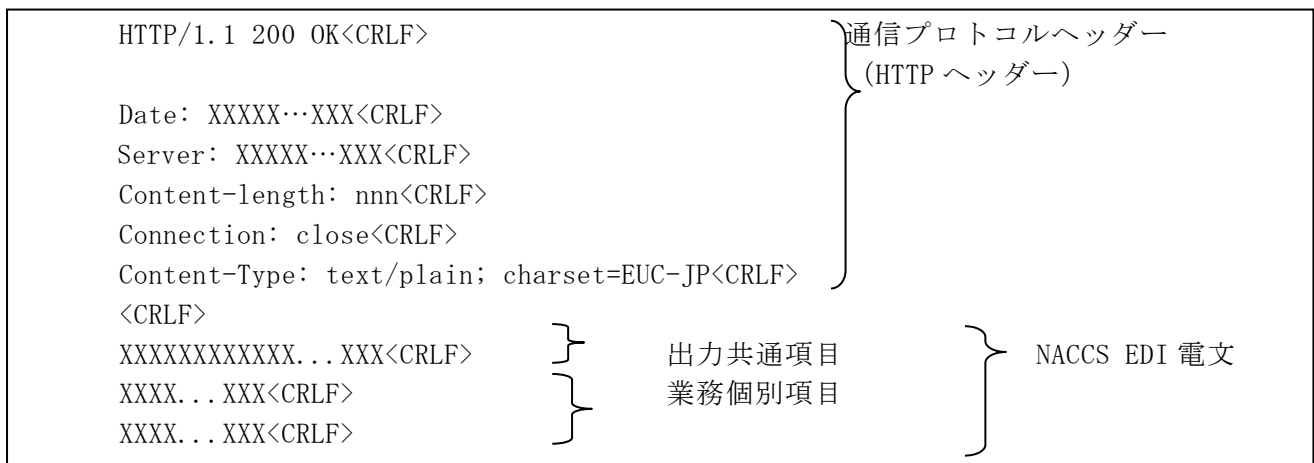
(参考)

上記の電文構造をテキストエディター等のテキスト形式で見た場合、以下のようになる。

①処理要求電文



②処理結果電文



(注)「<CRLF>」については、テキストエディター等により見え方が異なることがある。

(B) 添付ファイル電文の場合

管理資料情報は添付ファイル電文として利用者システムに返される。添付ファイル電文の概要を、図 6-2-6 に示す。

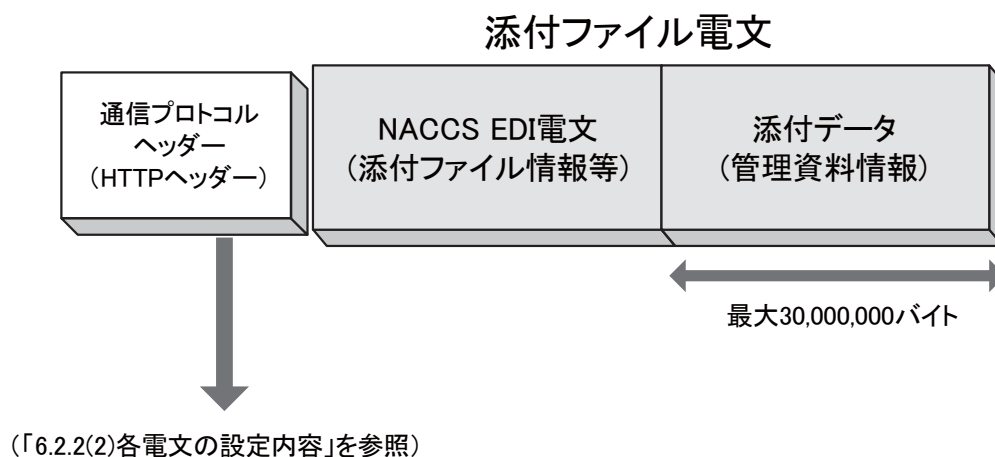


図 6-2-6 添付ファイル電文の概要

センター側管理資料情報取出サーバが管理資料情報を利用者システムへ送信する際は以下の形態となる。詳細は、図 6-2-7 に示す。

① 格納方法

NACCS では、管理資料情報の送信時に MIME (Multipurpose Internet Mail Extensions) を使用する。管理資料情報は添付ファイルの形式で格納される。

添付ファイル電文送信時の詳細規定は以下のとおりとする。

- MIME のバージョンは 1.0 が設定される。
- Content-Type は multipart/mixed とし、NACCS 電文部は Text/plain が設定され、添付ファイル部は application/octet-stream が設定される。
- 添付ファイル部の Content-Transfer-Encoding は、BASE64 を指定する。
- Content-Disposition には、attachment を設定し、filename にはファイル名が設定される。
- 1 ファイルは、1 つの管理資料情報で構成される。
- 添付データは 1 添付ファイル電文につき 1 ファイルとする。

② 電文イメージ

- 添付ファイル電文は、通信プロトコルヘッダー、本文からなる。
- HTTP ヘッダーの後の<CRLF>の後ろに、NACCS EDI 電文、BASE64 でエンコードした添付ファイル本体を設定する。

通信プロトコルヘッダー (HTTP ヘッダー)																																						
HTTP/1	.1	200	C	L	Date	:	XXXX	C	L	Server:	XXXXX...	C	L	Content	-length	C	L	Mime-	versio	C	L	Connec	tion:	C	L	Content-Type:	multipart/mix	C	L	C	L							
OK			R	F	X...X		XX	R	F	XXX		R	F	:nnn		R	F	n: 1.0		R	F	close		R	F	ed;	boundary="YYY		R	F	YYY"		R	F				

本文																																					
テキスト														テキスト																							
-	-	YYY	C	L	Content-Type:		Content		NACCS	EDI																											
(ハイフン)	(ハイフン)	YYY	R	F	Text/plain;		-Transfer		電文を参	照するこ																											
					charset="EUC-JP"		-Encoding:		と																												
							8bit (注)																														

本文																																						
添付ファイル部																																						
-	-	YYY	C	L	Content-Type:		Content-T		Content-Disposi																													
(ハイフン)	(ハイフン)	YYY	R	F	application/octet-st		ransfer-E		tion:																													
					ream; name="ファイル		ncoding:		attachment;																													
					名"		BASE64		filename="フ																													
									イル名"																													

本文							
添付ファイル部							
添付ファイル本体				C	L	-	-
				R	F	(ハイフン)	(ハイフン)
						YYY	
						(ハイフン)	(ハイフン)

(注) 当該項目の設定値はメールソフトに依存する。"8bit"は一例。

図 6-2-7 添付ファイル電文の構造例

(2) 各電文の設定内容

各電文の設定内容について以下に示す。

(A) 管理資料情報一覧要求電文の設定

① HTTPヘッダー

管理資料情報一覧要求電文における HTTP ヘッダーの設定内容を、表 6-2-3 に示す。

表 6-2-3 HTTP ヘッダー（管理資料情報一覧要求電文）

項番	項目	設定内容
1	リクエストライン	POST XXX HTTP/1.1<CRLF> リクエストメソッドは POST を設定する。 XXX は送信先のセンターサーバに応じて設定する。 HTTP バージョンは HTTP/1.1 を設定する。 設定されていない場合はエラーとなる。
2	HOST	HOST: FQDN:80<CRLF> FQDN は送信先のセンターサーバに応じて設定する。 ポート番号は 80 番を指定する。 設定されていない場合はエラーとなる。
3	Content-Type	Content-Type: text/plain; charset=EUC-JP<CRLF> 固定。
4	Content-length	Content-length: nnn<CRLF> nnn に送信電文のメッセージサイズを設定する。 設定されていない場合はエラーとなる。

② 入力共通項目

管理資料情報一覧要求電文における入力共通項目の設定内容を、表 6-2-4 に示す。

表 6-2-4 入力共通項目（管理資料情報一覧要求電文）

項番	項目名	桁	設定内容
1	(予約エリア)	3	(スペースを固定設定)
2	業務コード	5	?LST△ (△は半角スペース (1 バイト))
3	(予約エリア)	21	(スペースを固定設定)
4	利用者コード	5	利用者コード、識別番号、利用者パスワードを設定し、 利用者の識別に使用する
5	識別番号	3	
6	利用者パスワード	8	
7	(予約エリア)	319	(スペースを固定設定)
8	システム識別	1	(2 を固定設定)
9	(予約エリア)	27	(スペースを固定設定)
10	電文長	6	NACCS EDI 電文の長さを示す(入力共通項目を含む) 000409 (固定)

③ 業務個別項目

管理資料情報一覧要求電文における業務個別項目の設定内容を、表 6-2-5 に示す。

表 6-2-5 業務個別項目（管理資料情報一覧要求電文）

項番	項目名	桁	設定内容
1	出力情報コード	7	通常取り出し時はスペースを設定する。再取り出し時は取り出し対象の出力情報コードを設定(注)
2	デリミター	2	<CRLF>を設定

(注) 再取り出しの対象は多量になることが想定されるため出力情報コードで絞り込む方式とする。

したがって、再取り出しの際は出力情報コードを設定する。

(B) 管理資料情報一覧電文の設定

① HTTPヘッダー

管理資料情報一覧電文における HTTP ヘッダーの設定内容を、表 6-2-6 に示す。

表 6-2-6 HTTP ヘッダー（管理資料情報一覧電文）

項番	項目	設定内容
1	ステータスライン	HTTP/1.1 200 OK<CRLF> HTTP バージョンは HTTP/1.1 が設定される。
2	Date	メッセージ生成時の日付、時分秒が設定される。((曜日), dd MMM YYYY HH:mm:ss GMT 形式 (例: Mon, 01 Dec 2025 23:59:45 GMT))
3	Server	送信サーバ情報が設定される。
4	Content-Type	Content-Type: text/plain; charset=EUC-JP<CRLF> 固定。
5	Connection	Connection: close<CRLF> 固定。
6	Content-length	Content-length: nnn<CRLF> nnn に送信電文のメッセージサイズが設定される。

② 出力共通項目

管理資料情報一覧電文における出力共通項目の設定内容を、表 6-2-7 に示す。

表 6-2-7 出力共通項目（管理資料情報一覧電文）

項番	項目名	桁	設定内容
1	(予約エリア)	3	(注 1)
2	業務コード	5	処理要求電文と同じ業務コードが設定される (?LST△ (△は半角スペース (1 バイト)))
3	出力情報コード	7	正常時：CAQ0160 業務エラー時：*C?LST△ 共通エラー時：*CCMSG△ (△は半角スペース (1 バイト))
4	電文受信日時	14	電文受信日時が設定される (yyymmddhhmm△△)
5	利用者コード	5	電文を受信する利用者の利用者コードが設定される
6	(予約エリア)	211	(注 1)
7	電文制御情報	分割通番	3 正常時：001 エラー時：000
8		最終表示	1 E (固定)
9		電文種別	1 正常時：M エラー時：R
10		(予約エリア)	3 (注 1)
11	(予約エリア)	110	(注 1)
12	宛管形式	1	Q (固定)
13	(予約エリア)	28	(注 1)
14	電文長	6	NACCS EDI 電文の長さを示す 000400~700000 (最大電文長は 700,000)

(注1) 予約エリアは、システムの制御用に使用する。

③ 業務個別項目

管理資料情報一覧電文（正常時）における業務個別項目の設定内容を、表 6-2-8 に示す。

表 6-2-8 業務個別項目（管理資料情報一覧電文）

項番	項目名		桁	設定内容
1	処理結果コード		75	00000-0000-0000△～△ (先頭から 15 桁に処理結果コードが設定され、後ろ 60 桁はスペース)
2	デリミター		2	<CRLF>
3	管 理 資 料 フ ア イ ル 名 (注 1)	出力情報コード(注 2)	7	管理資料情報を示す出力情報コードが設定される
4		対象年月日	6	編集対象としたデータの年月日が設定される (yyymmdd 形式)
5		区切り	1	_ (アンダーバー)
6		宛先利用者コード	5	宛先利用者が設定される
7		区切り(注 4)	1	_ (アンダーバー)
8		Subject (注 3)	最大 64	輸出入者コードなどが設定される
9		区切り(注 4)	1	_ (アンダーバー)
10		コピー元利用者コード (注 5)(注 6)	5	コピー元の利用者コードが設定される
11		区切り	1	_ (アンダーバー)
12		作成年月日時分秒	14	NACCS センターサーバで配信ファイルを編集した際のシステム年月日時分秒が設定される (yyyymmddhhmmss 形式)
13		拡張子	4	.csv または.edi が設定される
14		拡張子	3	.gz が設定される
15	(予約エリア)	16		
16	デリミター(注 1)		2	<CRLF>
17	サイズ(注 1)		8	ファイルサイズ(単位：バイト) (最大サイズについては「3.4 電文の種類 (3) ファイル用情報電文(管理資料)」を参照のこと)
18	デリミター(注 1)		2	<CRLF>

(注1) 管理資料ファイルが複数ある場合には、項番3～18が繰り返される。繰り返し数は最大3,568回となる。
なお、項番3～14は可変長である。

(注2) NACCSパッケージソフトで管理資料情報を取り出した場合は、パッケージソフトが出力情報コードを業務仕様書番号+管理資料情報名(日本語)に変換するため、以下のような体系となる。

業務仕様書番号+管理資料情報名(日本語)+対象年月日+_
+宛先利用者コード+_+分割通番+_+輸出入者コード等+_+コピー元利用者コード等+_+作成年月日時分秒.csv

(NACCS パッケージソフトで変換された管理資料情報ファイル名の例)

I99 管理資料情報取出データ_251100_3ANAC_001_ABCDE0000000_1ANAC_20251208091024.csv

- (注3) 一つの宛先に対し同じ管理資料情報をデータの内容に分けて複数のファイルとして出力する場合、及び随時報の場合に使用される。
- (注4) 項番8「Subject」の前後にある”_”：アンダーバーは「Subject」が出力される際に一緒に出力されるものであり、「Subject」が出力されない場合には出力されない。
- (注5) ある利用者に配信された管理資料情報を別利用者に配信したい場合にのみ使用される。コピー元利用者コードの管理資料情報に「_Subject_」が含まれている場合、その内容が前に出力される。
- (注6) 項番8「Subject」が出力され、コピー元利用者コードが出力されない場合、アンダーバーが2つ並ぶことがある。

管理資料情報一覧電文(エラー時)における業務個別項目の設定内容を、表 6-2-9 に示す。

表 6-2-9 業務個別項目 (管理資料情報一覧電文)

項番	項目名	桁	設定内容
1	処理結果コード	75	エラーを示す処理結果コード(先頭から 15 桁の処理結果コードが最大 5 回繰り返される。)
2	デリミター	2	<CRLF>

(C) 管理資料情報取出要求電文／管理資料情報再取出要求電文の設定

① HTTPヘッダー

管理資料情報一覧要求電文と同じ設定である。(表 6-2-3)

② 入力共通項目

管理資料情報取出要求電文／管理資料情報再取出要求電文の入力共通項目の設定内容を、表 6-2-10 に示す。

表 6-2-10 入力共通項目
(管理資料情報取出要求電文／管理資料情報再取出要求電文)

項番	項目名	桁	設定内容
1	(予約エリア)	3	(スペースを固定設定)
2	業務コード	5	管理資料情報取出要求電文 : ?GTN△ (△は半角スペース (1 バイト)) 管理資料情報再取出要求電文 : ?GTP△ (△は半角スペース (1 バイト))
3	(予約エリア)	21	(スペースを固定設定)
4	利用者コード	5	利用者コード、識別番号、利用者パスワードを設定し、 利用者の識別に使用する
5	識別番号	3	
6	利用者パスワード	8	
7	(予約エリア)	319	(スペースを固定設定)
8	システム識別	1	(2 を固定設定)
9	(予約エリア)	27	(スペースを固定設定)
10	電文長	6	NACCS EDI 電文の長さを示す(入力共通項目を含む) 000530(固定)

③ 業務個別項目

管理資料情報取出要求電文／管理資料情報再取出要求電文における業務個別項目の設定内容を、表 6-2-11 に示す。

表 6-2-11 業務個別項目
(管理資料情報取出要求電文／管理資料情報再取出要求電文)

項番	項目名	桁	設定内容
1	ファイル名	128	取り出しを行う管理資料ファイルのファイル名を設定する。管理資料情報電文一覧の項目「管理資料ファイル名」に準じて、最大 128 バイトである。
2	デリミター	2	<CRLF>

(D) 管理資料情報電文の設定

① HTTPヘッダー

管理資料情報電文における HTTP ヘッダーの設定内容を、表 6-2-12 示す。

表 6-2-12 HTTP ヘッダー（管理資料情報電文）

項番	項目	設定内容
1	ステータスライン	HTTP/1.1 200 OK<CRLF> HTTP バージョンは HTTP/1.1 を指定する。 正常応答の場合ステータスコードに 200 が設定される。
2	Date	メッセージ生成時の日付、時分秒が設定される。((曜日), dd MMM YYYY HH:mm:ss GMT 形式 (例 : Mon, 01 Dec 2025 23:59:45 GMT))
3	Server	送信サーバ情報が設定される。
4	Content-length	Content-length: nnn<CRLF> nnn に送信電文のメッセージサイズが設定される。
5	MIME-version	NACCS では、“1.0” が設定される。
6	Connection	Connection: close<CRLF> 固定。
7	Content-Type	正常時は“multipart/mixed; boundary=任意の値”が設定される。 エラー発生時は、Content-Type: text/plain; charset=EUC-JP<CRLF>が設定される。

② 出力共通項目

管理資料情報電文における出力共通項目の設定内容を、表 6-2-13 に示す。

表 6-2-13 出力共通項目（管理資料情報電文）

項番	項目名		桁	設定内容
1	(予約エリア)		3	(注 1)
2	業務コード		5	処理要求電文と同じ業務コードが設定される
3	出力情報コード		7	<ul style="list-style-type: none"> ・管理資料情報取出要求電文の 正常応答または業務エラー応答：*C?GTN△ ・管理資料情報取出要求電文の 共通エラー応答：*CCMSG△ ・管理資料情報再取出要求電文の 正常応答または業務エラー応答：*C?GTP△ ・管理資料情報再取出要求電文の 共通エラー応答：*CCMSG△ (△は半角スペース (1 バイト))
4	電文受信日時		14	電文受信日時が設定される (yyyymmddhhmm△△)
5	利用者コード		5	電文を受信する利用者の利用者コードが設定される
6	(予約エリア)		211	(注 1)
7	電文 制 御 情 報	分割通番	3	000～999 管理資料の分割数に応じて通番が設定される 分割しない場合 000 が設定される
8		最終表示	1	最終の電文に“E”が設定される その他は半角スペース (1 バイト)
9		電文種別	1	R (固定)
10		(予約エリア)	3	(注 1)
11	(予約エリア)		110	処理要求電文の設定情報がそのまま出力される
12	宛管形式		1	Q (固定)
13	(予約エリア)		28	(注 1)
14	電文長		6	NACCS EDI 電文の長さを示す 000477 (固定)

(注1) 予約エリアは、システムの制御用に使用する。

③ 業務個別項目

管理資料情報電文における業務個別項目の設定内容を、表 6-2-14 に示す。

表 6-2-14 業務個別項目（管理資料情報電文）

項番	項目名	桁	設定内容
1	処理結果コード	75	正常時：00000-0000-0000 (先頭から 15 桁に処理結果コードが設定され、後ろ 60 桁はスペース) エラー時：エラーを示す処理結果コード (先頭から 15 桁の処理結果コードが最大 5 回繰り返される。)
2	デリミター	2	<CRLF>

④ 添付ファイル

正常時：BASE64 でエンコードされた管理資料情報が添付される。

エラー時：添付ファイルは存在しない。

(3) 管理資料情報ファイル名体系

以下に、CSV形式の民間管理資料情報のファイル名について説明する。

(A) CSV形式の管理資料情報ファイル名

出力情報コード(①)+対象年月日(②)+_+

宛先利用者コード(③)+_+分割通番(④)+_+輸出入者コード等(⑤)

+_+コピー元利用者コード等(⑥)+_+作成年月日時分秒(⑦).csv

(B) NACCSパッケージソフトで取り出された管理資料情報のファイル名

(取り出し後にパッケージソフトがファイル名を変換して保存する)

業務仕様書番号+管理資料情報名(日本語)(①')+対象年月日(②)+_+

宛先利用者コード(③)+_+分割通番(④)+_+輸出入者コード等(⑤)

+_+コピー元利用者コード等(⑥)+_+作成年月日時分秒(⑦).csv

- ① : 管理資料情報の出力情報コードを示す。
- ①' : 管理資料情報の仕様が記載されている業務仕様書の番号と当該管理資料情報の日本語名を示す。
- ② : 編集対象としたデータの年月日を示す。
YYMMDD (YYは年の下2桁)形式。
※月報の場合はYYMM00、年報の場合はYY0000とする。
- ③ : 宛先利用者を示す。
- ④ : 分割出力する場合の通番を示す。最後のファイルには「通番+E」と出力する。
- ⑤ : 輸出入者コードなどを示す。(任意出力)
※一つの宛先に対し同じ管理資料情報をデータの内容に分けて複数のファイルとして出力する場合に使用する。また、随時系の管理資料情報については、「ZUIJI_受理番号」または「ZUIJI_受理番号_通番」または「ZUIJI_輸出入者コード等_受理番号_通番」を付与する。出力内容は、出力単位に応じて設定する。複数ファイルとして出力する管理資料とその出力単位は、「業務仕様書」を参照すること。随時系の管理資料情報は、「付表 6-9-2 民間管理資料情報一覧」を参照すること。
- ⑥ : コピー元の利用者コードを示す。(任意出力)
※ある利用者に配信された管理資料情報を別利用者に配信したい場合に使用する。コピー元の管理資料情報ファイル名に「_輸出入者コード等_」が含まれている場合、「_輸出入者コード等_」が本項の前に出力される。
別利用者に配信する管理資料は、業務仕様に定められたもの、または利用者の依頼に応じてNACCSセンターが設定したものが対象となる。
※輸出入者コード等(⑤)が出力され、本項目(⑥)が出力されない場合、アンダーバーが2つ並ぶことがある。(後述(例3)を参照)
- ⑦ : NACCSセンターサーバで配信ファイルを編集した際のシステム年月日時分秒を示す。

(注1) 項目④の前にある”_” : アンダーバーは項目④が出力される際に一緒に出力されるものであり、項目④が出力されない場合には出力されない。

(注2) 項目⑤の前後にある”_” : アンダーバーは項目⑥が出力される際に一緒に出力されるものであり、項目⑤が出力されない場合には出力されない。

以下に、自社システムで取り出す CSV 形式の民間管理資料情報のファイル名例を示す。

(例1) 通常の日報配信管理資料情報の場合

(2025年12月9日4時50分12秒に編集された1ANAC宛の管理資料情報
(日報) (データは12月8日分))

AAA9990251208_1ANAC_20251209045012.csv

└出力情報コード

(例2) (例1)の利用者の同管理資料情報を3ANACにも配信した場合

AAA9990251208_3ANAC1ANAC_20251209045012.csv

(例3) ファイル名に輸出入者コード等を設定した月報配信管理資料情報の場合

(2025年12月8日9時10分24秒に編集された1ANAC宛の管理資料情報
(月報) (データは11月分))

AAA9990251100_1ANAC_ABCDEFGHIJKL__20251208091024.csv

: 輸入者 ABCDEFGHIJKL の管理資料情報

AAA9990251100_1ANAC_MNOPQRSTUVWXYZ__20251208091024.csv

: 輸入者 MNOPQRSTUVWXYZ の管理資料情報

(例4) (例3)の利用者の同管理資料情報を3ANACにも配信した場合

AAA9990251100_3ANAC_ABCDEFGHIJKL_1ANAC_20251208091024.csv

: 輸入者 ABCDEFGHIJKL の管理資料情報

AAA9990251100_3ANAC_MNOPQRSTUVWXYZ_1ANAC_20251208091024.csv

: 輸入者 MNOPQRSTUVWXYZ の管理資料情報

(例5) (例1)の利用者の管理資料情報を3つに分割し配信した場合

AAA9990251208_1ANAC_001_20251209045012.csv

AAA9990251208_1ANAC_002_20251209045012.csv

AAA9990251208_1ANAC_003E_20251209045012.csv

6.2.3 異常時の対処

(1) HTTPヘッダーの設定内容に起因するエラー

HTTPのリクエスト時にエラーが発生した場合の対処を、表 6-2-15 に示す。

表 6-2-15 HTTP リクエスト時のエラーにおける対処

項番	メソッド	想定されるエラーと対処
1	POST	<p>HTTP のリクエストを行ったがセンター側管理資料情報取出サーバから応答がない。</p> <p><原因と対処></p> <ul style="list-style-type: none"> ・宛先 URL、宛先ポート番号が間違っている →宛先 URL が正しいか、80 番ポートに接続要求しているか確認する。 ・NACCS センターサーバがメンテナンス中である。 →NACCS センターサーバのメンテナンス情報は NACCS 掲示板に公開されているのでそれを確認する。メンテナンス中である場合、メンテナンス終了後に再度接続を行う。 ・NACCS センターサーバやネットワークが障害中である。 →暫くしてから再度接続する。長時間復旧しない場合は、NACCS センターのヘルプデスクに調査依頼を行う。 障害情報については、NACCS 掲示板にも掲載される。 <p>なお、接続試験用のサーバのメンテナンス情報、障害情報については NACCS 掲示板に掲載されないので、接続試験可能な時間帯にも関わらずサーバに接続できない場合は NACCS センターに NACCS センターサーバの状況を確認すること。</p> <hr/> <p>エラー応答（正常応答（200）以外）が返される。</p> <p><原因と対処></p> <ol style="list-style-type: none"> ①宛先 URL が間違っている。（403 または 404） →NACCS センターから通知された URL を指定しているか確認する。 ②HTTP ヘッダーに誤りがある。（400） →正しい HTTP ヘッダーを作成し再実行する。

6.2.4 その他

(1) 制限事項

利用者システムで管理資料情報取出を行う場合は、以下の事項について守らねばならない。

- ①利用者システムによる管理資料情報取出は、アクセス回線が専用線接続またはブロードバンド光接続である場合に限り利用可能となる。
- ②利用者システムは、管理資料情報取出サーバの容量の制約から、配信日時（以降）に速やかに取り出しを行わなくてはならない。
- ③一部利用者からの取出要求集中に伴うレスポンス遅延を防止するため、自社システムの利用者は以下の事項を守る必要がある。
 - ・同一の自社システムからの取り出しにおいては、同時に複数利用者の取出要求を実施してはいけない。
 - ・同一利用者の取出要求を同時に複数の管理資料に対して実施してはいけない。

(2) その他注意事項

管理資料情報取出（自社システム）利用者は、以下の事項について注意する必要がある。

- ①システムの高負荷時には、全利用者からの電文の受信を停止するなどの運用制限をかける場合がある。この場合、NACCSセンターから利用者に対し周知を行う。
- ②利用者が取り出した管理資料情報（随時報は除く）については、管理資料情報取出サーバの再配信用ディレクトリに移動される。ただし、メインセンター～バックアップセンター間で取出し状況の同期は行っていないため、大規模障害及び大規模災害の発生等によりバックアップセンターに切り替わった場合、またはメインセンターへの切り戻しが行われた場合、取り出し済みの管理資料情報が再度取得されることがある。

6.2.5 各種タイマー値

管理資料情報取出(自社システム)において規定するタイマー値を、表 6-2-16 に示す。
また、各タイマーの設定箇所について、図 6-2-8 及び図 6-2-9 に示す。

表 6-2-16 タイマー値

ID	監視内容	タイマー値
T01	利用者側送信時の利用者側端末とセンター側管理資料情報取出サーバの HTTP コネクション監視時間	利用者が規定
T02	管理資料情報再配信用一覧要求を行う間隔	目安として30分程度間隔をあけること

(注) 表6-2-16のID欄に示すT01及びT02は、図6-2-8及び図6-2-9に示すタイマーのIDを示す。

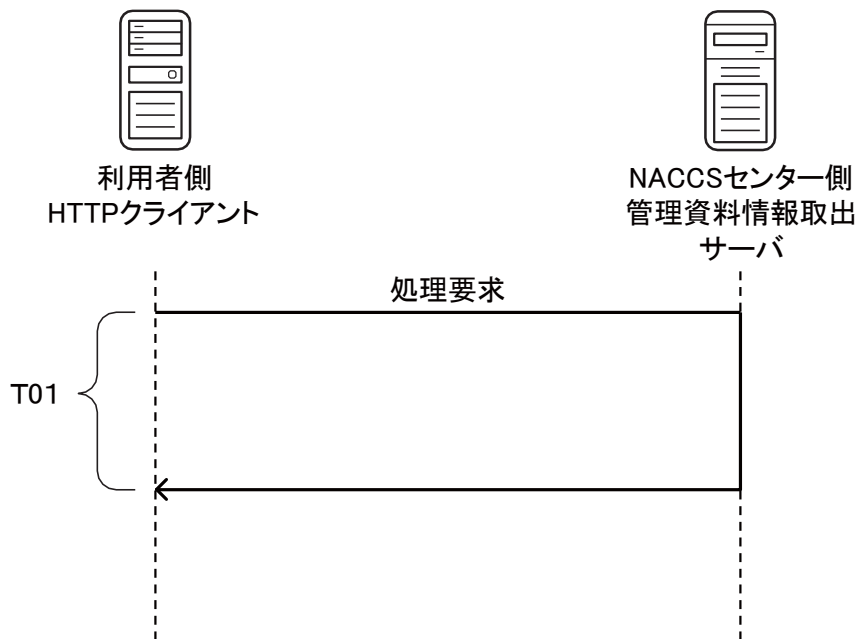


図 6-2-8 通常通信時のタイマー設定

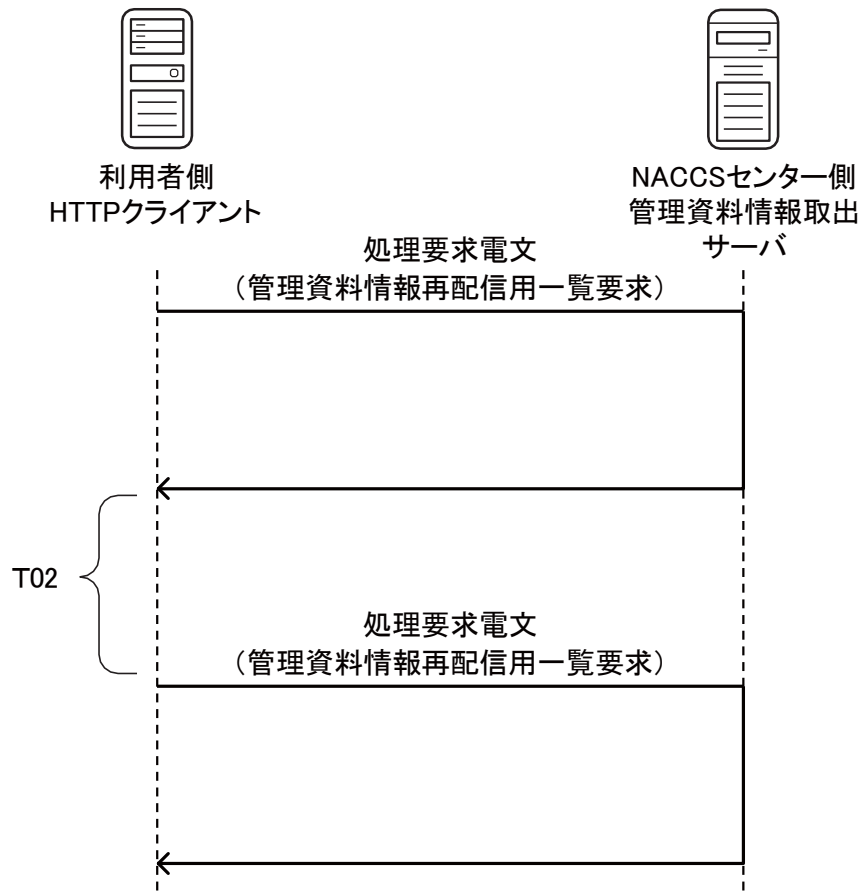


図 6-2-9 管理資料情報再配信用一覧要求のタイマー設定